

医薬品
化粧品 洗剤

研究開発・製造技術国際展

会期: 2015年7月1日[水]~3日[金]

会場時間: 10:00~18:00 ※最終日のみ17:00終了

会場: 東京ビッグサイト

■ 医薬・化粧品業界 日本最大! 1,000社が出展

医薬・化粧品業界、世界有数の専門技術展「インターフェックス ジャパン」。今年も7月1日[水]~3日[金]に東京ビッグサイトにて開催される。同展には、医薬・化粧品を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術を持つ企業が一堂に出展する。今年の出展社数は、日本最大の1,000社※に上る。会場には全国から35,000名※もの医薬・化粧品分野の専門家がこぞって来場。そのような中、本業界に欠かせない同展の今年ならではの魅力をご紹介します。(※予定、同時開催展を含む)

1、医薬・化粧品業界の研究開発・製造工程が最初から最後まで全て見れる!

まず一番の魅力は、研究者向けの測定分析機器をはじめ、原料加工、プロセス測定・検査、供給・輸送、滅菌・クリーン化、包装、製薬用水、バイオ医薬製造など、研究開発・製造に関わる全ての機器・サービスを見ることが出来ることである。各専門分野は下記の通り、「ゾーン」分けされており、自分の見たい製品を効率的に回ることが出来る。



また、同展の大きな特徴は、実機展示が多いことである。同展に来場すれば、先述の通り、研究開発から原料加工、包装機器など、全て見ることが出来るだけでなく、製品そのもの(実機)を目にし、実演を見て、触ることもできる。また1,000社もの企業の製品を一気に比較検討することが出来、さらには設備単体ではなく、ライン展示する企業も多数おり、各社、主力製品を実演する為、導入検討に欠かせない場になる。

同展は「1,000社」が出展し、規模が巨大であること、また、同時開催の「セミナー」も全140講演と充実しており、3日間来場する方がほとんどだが、それでも時間が足りないという話をよく耳にする。

見たい製品を逃さない為に、事務局が用意しているシステムが「出展社・製品検索システム」が便利だ。

これを使用すると、事前に探している製品や会社を検索することが出来、簡単にアポイントメールを送ることが出来る。

規定フォーマットに入力するだけなので、「全く面識がない方に突然メールでアポイントを取っていいのだろうか」と心配する必要もない。ぜひ積極的にアポイントを取り、事前スケジュールリングすることが、同展を効率的に回るコツである。

2、今年「設備保全・補修」ゾーンが新設！

同ゾーンは、製薬メーカーからの「無菌製剤の製造設備で耐腐食性に対する対策を万全にしたい。設備部品や材料においても適した製品を探している。」「機械を長寿命化させるため、設備の表面処理やコーティングなどの加工技術に興味がある。」という声を受け、今年初めて新設した。会場には、表面処理、機械加工技術、機械部品・材料、保全・メンテナンスサービス など設備保全・補修に関する部品やサービスが出展。出展社には日本空調サービス、不二WPC(出展製品:WPC処理、DLCコーティング)、プラスエンジニアリング(出展製品:VAVEハンドブック、ノズル・細穴加工、クシバ・スリット加工等)、三笠製作所(出展サービス:CEマーキング対応フルサポートサービス!等)、今野製作所、八光産業(出展製品:タンタル補修、特殊点検:GL機器の母材板厚測定など)、ユニコントロールズなど、異分野からの出展が相次いでいる。

3、新規出展・海外出展社も多数！

もうひとつ、忘れてはいけない魅力は、何と言っても新規出展社の多さである。

例えば、畑鐵工所、フジシール、ダイキンプライドシステムズ、三機工業、タケトモ、レイボルド、エステック、ダイドー、ザルトリウス・ジャパン、グルンドフォスポンプ、岡田紙業、アース環境サービス、寿工業、ポニー工業、伊藤忠マシンテクノス、ベスパック、CTCライフサイエンス、ホシエヌ製薬、京都リサーチパーク、藤崎電機などである。また、物流分野からは、スギヤス、村田機械、東京システム運輸ホールディングス、トラスト・エクスプレス、ジェピコ、ツインバード工業、ユニパルス、住商グローバル・ロジスティクス、グリーンプラスなどが出展。IT分野からは三和プラントエンジニアリング、日立ハイテックマテリアルズなど他分野で活躍する企業も目をひく。

また海外色も豊かである。アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、イタリア、ポーランド、スイス、インド、シンガポール、香港、韓国、台湾など世界各国から装置・技術が集結する。世界の製薬・化粧品市場で技術を磨く有力企業を日本にいながらにして見ることが出来る。まさにこの医薬・化粧品分野における世界有数の専門技術展として、3日間では見切れないほど圧倒的な出展社数である。(出展社一覧は末尾に掲載)

4、併催:セミナーも充実！

次に毎年多くの聴講者を集めているセミナーをご紹介します。例年、医薬品業界の最新動向を網羅したプログラムとなり、その充実した質の高い講演内容は、業界関係者から高い評価を得ている。

セミナーは【基調講演】【特別講演】【専門技術セミナー】【基礎講座】【専門フォーラム】【出展社による製品・技術セミナー】がある。

【基調講演】では、(独)医薬品医療機器総合機構 理事長 近藤 達也氏が「世界に先駆けた革新的な医薬品等の実用化に向けて」、田辺三菱製薬(株) 代表取締役社長 社長執行役員 三津家 正之氏が「独自の価値を、一番乗りで～製薬産業の将来展望と田辺三菱製薬の取組み～」と題し講演。同展の開幕を飾る。

【特別講演】では、今ホットピックのテーマ「再生医療」を掲げ、『再生医療』が切り拓く医薬品産業～最新事例と展望～と題し、●経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 ヘルスケア産業課長 江崎 禎英氏、●(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 代表取締役社長 小澤 洋介氏、●日揮(株) 第3事業本部 プロジェクト第1部 マネージャー 佐野 之泰氏の3名が登壇する。

【専門技術セミナー】では、10セッション30名が登壇。PIC/S、バイオ医薬製造、ジェネリック医薬品の各社戦略、医薬品施設の最新エンジニアリング事例など、最新の技術情報が連日講演される。

【基礎講座】は若手実務者のための医薬業界の基礎知識・スキルを高める特別講座である。毎年、若手だけでなく、異動した部署の専門情報を1から勉強するため、参加する技術者も少なくない。

【専門フォーラム】は、【物流】【IT】【分析・物性】【医薬品原料】とそれぞれの専門テーマを講演。この4分野の来場者には聞き逃せない重要フォーラムであろう。

最後に【出展社による製品・技術セミナー】である。その名の通り、出展社が最新製品の技術力をPRする講演だが、例年70社もの企業が講演しており、その講演と各社ブースでの製品・商談を合わせて行うとより製品の比較検討に深みが増す、と来場者からの聴講希望も多く、立ち見の会社も出ているほどだ。

上記の内、【出展社による製品・技術セミナー】以外はすべて事前登録が必要である。(※申込みはWebから。プログラムは次ページを参照)

【展示会概要】

◆◆招待券申込(無料)受付中◆◆

会期: 2015年7月1日(水)~3日(金) 会場: 東京ビッグサイト 主催: リードエグジビションジャパン株式会社
同時開催: 第9回 in-PHARMA JAPAN (医薬品原料国際展)

【展示会に関する問合せ】 インターフェックス ジャパン事務局 (リードエグジビションジャパン株式会社内)

〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18F 広報: 畠山

TEL: 03-3349-8509 FAX: 03-3349-4922 E-mail: ipj@reedexpo.co.jp

公式HP: <http://www.interphex.jp/>